

未曾有の大震災に立ち向かう製造業。わけても日本のモノづくりの基盤となる金型ユーザーの復興に貢献すべく、金型部品総合メーカーのパンチ工業は積極的な事業展開をしている。技術革新による金型部品の新機軸「Tシリーズ」を開発。その第弾の戦略商品として螺旋(らせん)水管スプルーブシュを市場に投入する。また最新鋭の兵器工場を本格稼働させ、より二層の納期短縮などユーザーニーズにきめ細かく対応できる体制を整備する。森久保有司社長と大村浩治取締役(新規事業開発室・海外部担当)に、その決意を新製品戦略や新工場(兵庫県)の位置づけをまじえて伺った。

——日本の試練ともいえる大震災になりました。モノづくり企業として現状についてどのような見方をしていますか。

森久保 「先ずは、東日本を襲った巨大地震で犠牲となった多くの方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様のお気持ちはいかにばかり

日本が誇る「モノづくり」の復興を目指し 金型部品のパンチ工業が全力で挑む決意

パンチ工業 森久保有司社長、大村浩治取締役(新規事業開発室・海外部担当)のインタビュー

か。とにかく一日も早く安心できる暮らしができるよう願うばかりです。また、今も現地で救援支援、復旧活動に必死に取り組まれている多くの方々には、心より敬意を表します。私たちもパンチ工業だからこそできることを考え、貢献する決意で、皆さまと共にこの難局に立ち向かっています。当社にも大津波で被災した岩手県宮古市に工場があります。ご心配をおかけしましたが社員は全員無事でした。残念なことに社員

の復興のお手伝いをさせていたいただきたいと思っています。一方、あらゆる分野が厳しい現実に向き合っている中、製造業も大変厳しい状況にあります。被災地には、自動車やエレクトロニクスの工場やその協力工場、部品メーカーが集積しています。それだけに国内にも、もちろん世界のサプライチェーンに大きな打撃を与えることになりましたし、立ち直りの気配を見せてきた日本経済にとっての影響は否めません。もちろん救援や支援活



森久保有司社長

動は最優先ですが、我々は被災地を守るためにも日本経済を支え続けていかなければなりません。積極的に打つべき手を打ち経済を停滞させないことが企業の責任です。東日本のモノづくりの停滞が与えるグローバルな影響でもわかるように、依然として日本のモノづくりは世界において重要な役割を担っています。私たちは戦後の焦土から日本経済を支えてきたモノづくりの底力があります。この底力をもってすればこの難局も

必ず克服できるものと確信しています。当社も金型部品メーカーとして、全社員一丸となりモノづくり復興の一翼を担っていく決意で動き始めています」

——折しも今春、戦略製品として螺旋水管スプルーブシュ(TIシリーズ)を市場投入されますが、特徴点を教えてください。

大村 「当社では、日本のモノづくりを強くする、というスローガンのもとに、金型部品の新機軸「Tシリーズ」を開発してきました。なぜ、T(テクノロジカル・インベシジョン)と名付けたかという

と、今まではない技術や考え、作り方を採用しているからです。プラスチック射出成形金型に使う従来のスプルーブシュは、切削加工で製造しています。これに対してTシリーズのスプルーブシュは、金属光造形複合加工技術を用いています。薄く引いた金属のパウダーに1400度のレーザーを照射・焼結し、ある高さまで造形

された時点で高速切削し形状を仕上げます。この工程を繰り返し、下からどんどん積み上げ造形し、複合加工していきます。三次元CAD/CAMと連動しているため、設計者の意思どおり、どんな形状でも造形ができるので内部に複雑な形状の冷却水管を作り込めたのです」

成形時の冷却時間を画期的に短縮できる

——ユーザーとなる金型や成形のメーカーにどのようなメリットを提供できますか。

大村 「プラスチック射出成形において冷却時間は、1サイクルのなかで大きな割合を占めています。とくに微細な製品を成形する場合、スプルー部分の熱溜まりがサイクル時間の短縮を妨げやすい。今回共同開発したTシリーズの螺旋水管スプルーブシュは、内部に冷却効率の高い螺旋状の水管を配置しているため、冷却時間を画期的に短縮することができ

ます。そのためにはお客様の希望する納期や品質、価格をしっかり維持し、ご安心いただける供給体制を構築することです」

製造直販の強みを生かしよりきめ細かいサービスに注力

——創業以来、製造直販の体制で事業展開されています。今後もそ

れは強さの源泉であり続けますか。

森久保 「金型部品のトップブランドを目指す当社にとって、製販一体がお客様にメリットを提供できる基本型と考えているからです。技術上の問題点や景気の動向を肌で感じることができ、それで良いと思ったことがすぐカタチになります。国内14か所の営業所がいち早くお客様が抱える課題をキャッチし、その解決に直結する製品を各工場からスピーディーに供給するイメージです。今回のTシリーズもそうですが、お客様との接点である営業所の機動力と製造部門の技術力で、パンチ工業ならではの提案型製品が提供できると思っています。金型部品業界でこれだけの規模を持っているところは少ないはずです。これを強みによりきめ細かいサービスに力を入れていきます。とにかく、今は「日本のモノづくりの復興」を合言葉に、全社一丸でパンチの底力を発揮して、お客さまと共に復興への活路を開いていきます」

西日本のユーザーニーズに応える兵器工場

——「Tシリーズ新製品「螺旋水管スプルーブシュ」

パンチ工業株式会社

パンチ工業株式会社

パンチ工業株式会社

パンチ工業株式会社

冷却時間の短縮で 射出成形のタクトタイムを大幅に削減

劇的な効果

コストダウン

独自の製造法

スプルー部

螺旋水管スプルーブシュ



大村浩治取締役(新規事業開発室・海外部担当)

ビティス子並みの46〜50HRCを達成しています。今年度の戦略商品として4月下旬に発売を予定しています。

森久保 「工場が北上や宮古など東北地方に集中している関係で、西日本のお客様から更なる短納期化を求める声が多く寄せられていました。兵器工場は、そうした要望にこたえたもので、1月から稼働を開始、4月には100人近くまで増員、2直体制にし、ユーザーニーズにしっかりと応えていきたい。兵器工場が本格稼働すれば、西日本のお客様のご注文はその当日や翌日に納品できるようにするなど、より一層便利に使っていただけるようになると思います。モノづくりの海外進出が加速するなかで、大震災による停滞も加わり、日本のモノづくりの将来を大変心配しています。金型部品を提供するわれわれは、命をかけて日本のモノづくりを守っていく使命があります」

効果については当社成形条件によるものであり、条件により結果は変化します。

コストダウン

独自の製造法

スプルー部

螺旋水管スプルーブシュ